



北海道日本ハムファイターズ 北海道179市町村応援大使2015に 登別市が選ばれました

11月22日(出)、プロ野球・北海道日本ハムファイターズが平成25年から行っている、毎年18市町村にそれぞれ2人の選手を応援大使に1年間任命し、10年かけて道内全ての市町村のPRを行っていく企画『北海道日本ハムファイターズ北海道179市町村応援大使』のことに対象市町村に登別市が選ばれました。

登別市の応援大使には、中島卓也選手と岡大海選手が決定し、平成27年の1年間、両選手にはまちを盛り上げるお手伝いをしていただきます。

12月19日(金)には、北海道日本ハムファイターズの担当者らが市を訪れ、応援大使の等身大パネルやポスター、直筆サイン入りユニフォームなどが市に寄贈されました。

登別市の応援大使になりました



2015年度登別市応援大使
中島 卓也選手

- ① 9
- ② 1991年1月11日
- ③ 23歳
- ④ 176センチ
- ⑤ 70キロ
- ⑥ 福岡県
- ⑦ 右投げ/左打ち
- ⑧ 内野手
- ⑨ 福岡工業高校卒
ドラフト5位・
2009年～

2015年度登別市応援大使
岡 大海選手

- ① 31
- ② 1991年7月15日
- ③ 23歳
- ④ 185センチ
- ⑤ 83キロ
- ⑥ 岡山県
- ⑦ 右投げ/右打ち
- ⑧ 内野手
- ⑨ 明治大学卒
ドラフト3位・
2014年～

※プロフィールの番号は、①背番号、②生年月日、③年齢、④身長、⑤体重、⑥出身、⑦投打、⑧ポジション、⑨経歴を表しています。

11 / 22



▲市長と意見を交わす参加者

市長室フリータイム
11月26日(水)、市長応接室で『市長室フリータイム』(市主催)を行いました。
市民が市長と自由に話し合える機会を広げるために行っている同事業に、今回は3人が参加。さまざまなテーマについて、意見を交わしました。
市の女性施策をテーマに挙げた参加者は、「女性が社会進出するに当たってのリーダーがまだ育っておらず、女性の意識改革は絶対に必要」と、女性の学びの環境を整えることの重要性について話していました。

率直に意見を交換

11 / 26

**スポーツを通じて
他地域の児童と交流**
登別市児童館スポーツ交流会
11月22日(出)、総合体育館で『登別市児童館スポーツ交流会』(市主催)を開催し、約170人の児童が参加しました。
同交流会は、市内の児童館や児童クラブを利用しての児童が一堂に会し、綱引きやドッジボールを通して他地域の児童と交流を深めるものです。
綱引きでは、6チームに分かれた児童がそれぞれ一丸となって必死に綱を引き、勝ったチームの児童が飛び跳ねながら喜ぶ姿が見られました。

11 / 22



▲綱引きに勝利し、喜び合う子どもたち



▲『パン食い競争』で目当てのパンを取る子どもたち

**一生懸命走ったみんなの
頑張りに金メダル**

11月27日(木)、婦人センターで『ミニミニオリ
ンピック』（市主催）を開催しました。

この催しは、運動遊びを通して親子でコミュ
ニケーションをとりながら、楽しい時間を過ご
すことを目的に、毎年行っています。

2歳から就学前までの子どもとその保護者32
組が『かけっこ』や『玉入れ』、『パン食い競
争』など6種目の競技に参加。アンパンマンカ
ーに乗って、親子でゴールを目指し、『ア
ンパンマンでゴーゴー』では、子どもたち
がお父さん、お母さんの先頭を切って一生懸命
走る姿に、会場から声援が送られました。

ミニミニオリンピック

11/27

**年末は手打ちそばで
決まり**

年越しは手打ちそばで教室

11月29日(土)・30日(日)の2日間、郷土資料館で
『年越しは手打ちそばで教室』（市主催）を開
催し、2日間で31人が参加しました。

郷土資料館ボランティアグループ『SLG』
のメンバーが、丁寧にそばの打ち方を教えてく
れるため、毎年人気の教室となっています。

講師の手法を見た後、実際にそば打ちをした
参加者は『こねる作業が難しい』、『包丁で細
くきれいにそばが切れない』など苦戦しながら
も、出来上がったそばを手に、「大変でしたが
またやってみたいです。家に帰ってゆでるのが
楽しみです」と笑顔で話してくれました。



▲講師の手法を真剣な表情で見る参加者

11/29・30



▲1年間たまったすすが落とされるエンマ大王からくり山車

スマートフォンで
動画を再生できます

1. GooglePlay・AppStore
から無料アプリ「junaio」
をダウンロード
2. 必ずこのQRコード
をスキャン
3. この左の写真に
スマートフォンをかざす

**エンマ様もすがすがしい
気分で年越しを**

エンマ大王からくり山車のすす払い

12月18日(木)、登別温泉極楽通りにある閻魔堂
で、エンマ大王からくり山車のすす払い（極楽
通り商店街振興組合主催）が行われました。

毎日地獄の審判を下しているエンマ大王から
くり山車は、第30回登別地獄まつりに合わせて
平成5年に整備されたもので、高さは座った状
態で約5呎。すす払いには、はしごや長い柄の
付いたぼうしが使われました。

すす払いに参加した極楽通りの店主の皆さ
んは、「感謝の気持ちと、来年もお客さんと呼
んでくれるように願いを込めてすすを落として
います」と話してくれました。

12/18